まつり・イベント

Festival

まちの灯を消さないという想いから始まった「あかびら火まつり」！

私たちはその中で、かつて炭鉱のまちであったことを伝承するために、赤いふんどしを締めた若者たちとタイマツを持って市内を走り、クライマックスで炭鉱の象徴であるズリ山に火文字を浮かび上がらせています。この赤フンは一度締めるとやめられないと評判でリピーターの参加者がたくさんいます。

ズリ山の火文字を点火する瞬間は何度見ても感動します。この熱い７月の赤平にぜひお越しください！

あかびら火まつりやらん会　南 隼和さん

1 あかびら火まつり　赤フンランナー
2 あかびら火まつり　火神輿
3 らんフェスタ赤平
4 産業フェスティバル

らんフェスタ赤平（4月）

赤平市はコチョウラン生産が盛んなまち。「らんフェスタ赤平」は4月に開催される道内最大規模の蘭のイベントです。

道内各地で育てられた蘭愛好家の花や珍しい蘭が集まり、雪解けの季節を待ちわびた多くのファンが来場されます。会場入口に生けられた大きな「迎え花」（花のオブジェ）や、ゴールデンリボン賞を受賞した蘭の周りには、さまざまな角度からカメラを向ける人の姿が見受けられます。

北海道の春は赤平から―

来場者を魅了する蘭とともに、赤平に春が訪れます。

あかびら火まつり（7月）

赤平の夏の風物詩にして最大のイベント「あかびら火まつり」は7月第3土・日に開催されます。

赤平神社で採火した炎は赤いふんどしを締めたランナーが持つタイマツに灯され、平岸・住吉・共和の3地区から市内を駆け巡り、勇壮な「火太鼓」が迎えるメイン会場に運ばれます。その火がズリ山に「火文字」を灯し、「火神輿」に受け継がれるようすは、荒々しくも、おごそかな空気を感じられます。

暑い季節にまちも人も赤々と燃え上がる2日間。熱い感動がこみ上げます。

赤平産業フェスティバル（10月）

収穫の秋。食欲の秋。そして“ものづくり”の秋。10月は「赤平産業フェスティバル」の季節です。

飲食ブースには、ご当地料理や話題のスイーツがずらりと並び、すぐお腹いっぱいになってしまいます。新米や新鮮野菜の直売もあり、家に帰ってからも赤平の旬を楽しめます。

赤平市はものづくり企業が集まるまちでもあります。全国や世界にも通用する高い技術でつくられた製品を手に取ると、赤平の底力を感じられるはずです。

赤平って実はすごいまち。そんな魅力を発見できるお祭りです。